

青森県生協連：第20回生協ふれあいの森植樹祭「眺望山」開催報告

1. 日時 2021年5月23日(日)：10:10～12:00
2. 場所 青森市内真部・眺望山自然休養林
3. 参加 22名
 コープあおもり(8名) 津軽保健生協(1名) 県民生協(2名) 森林管理署(7名) 県生協連(4名)
 参加組合員(2名)
4. 当日プログラム

10:10～	集合
10:15～10:20	あいさつ 青森森林管理署：江坂文寿署長 青森県生協連：小池伸二専務 自己紹介、ペア確認、移動
10:30～11:30	植樹方法の確認植樹(ヒバ50本+寄贈苗)
11:30～11:50	移動、記念撮影
11:50～12:00	コースターづくりの説明、体験、解散



あいさつをする江坂署長と小池専務

・5月23日(日)、青森市眺望山自然休養林において第20回「生協ふれあいの森」植樹祭を開催しました。生協組合員や森林管理署の皆さん、スタッフを合わせて22名が参加し、ヒバの苗木50本を植えました。新型コロナウイルス感染予防のため、参加人数を制限し、作業時間短縮のため植えるヒバの数も少なくしました。県生協連では2001年から青森森林管理署と「ふれあいの森協定」を締結し、牛乳パックのリサイクルの収益金をもとにした植樹活動を眺望山で実施してきました。21年間で植えることができたヒバの苗木は、3,850本となりました。

・参加者は、やや急斜面の山道を登って、およそ2メートル間隔となるよう、森林管理署の職員の説明のとおり唐クワを上手に使って丁寧に1本1本植えていました。

・例年植樹後はバーベキューや木工体験を行っていましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、バーベキューは行わず、木工コースターづくりは材料の配布と作り方の説明をし、希望者が残って製作しました。

・コープあおもりの組合員さんから、ヒバの苗木植樹の依頼がありました。県生協連が用意した苗木と一緒に、植樹させていただきました。



唐クワを巧みに扱い穴を掘る組合員さん



組合員さんから預かった苗木

～組合員さんの感想～

- ・雨あがり足元は悪かったが、スコップを入れるにはやわらかい土で思いのほかやりやすかった。コロナ禍で参加者が少なかったのが残念！来年以降また前のようになればいいですね。
- ・楽しかったです。山の木々達も人の手によって森に変化する。それによって良い空気だったり、人を癒す景色だったり。私たちが植えたヒバは、何十年後かにそうなるよネ！！